

# 心医連

UPM newsletter

The Japanese Union of Associations for Psychomedical Therapy

## ニュースレター

発行者 坂入 洋右

日本心理医療諸学会連合 事務局

〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学体育系内  
FAX 029-853-2685 E-mail upm\_office@yahoo.co.jp

### 理事長挨拶

日本心理医療諸学会連合 (UPM) 理事長 坂入 洋右

日本心理医療諸学会連合 (UPM: Japanese Union of Associations for Psychomedical Therapy) は、心理療法および心理生理学的療法を研究対象とする諸学会間の相互理解と交流を深め、それによってこれら諸領域の総合的発展を図る事を目的として1987年に設立されました。心理学系諸学会と医療系諸学会との連合体で、現在15学会で構成されています。

このたび江花昭一前理事長(日本心身医学会)の後を受け、私坂入(日本自律訓練学会)が平成25~26年度の理事長に指名されました。医療系の天保英明副理事長(日本心身医学会)、心理系の竹中晃二副理事長(日本健康心理学会)をはじめ、各加盟学会代表の理事や会員の先生方の素晴らしいお力を結びつける役割を果たし、社会や人々を支えるという理念のもとに学問領域の枠を超えた連携を果たしてきたUPMの活動を、さらに推進していきたいと思っております。

これまでの皆様のご尽力によって、UPMのホームペー

ジ(<http://www.jupm.jp>)が充実し、大会の参加者が大幅に増え、運営基盤が安定してきました。今期もこれまでの方針を継承し、年次大会については、その開催を個別の加盟学会にお任せするのではなく、委員会を組織してUPM全体で運営したいと思っております。2013年9月1日に開催予定の第26回大会は、端詰勝敬大会長(日本バイオフィードバック学会)を中心に準備が進められています。多くの方々にご参加いただけるよう、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

UPM発足から25年が経過しましたが、ここからからの統合や心理と医療の連携の重要性は益々大きくなっています。UPMの各学会員および関係の方々のご尽力、ご支援に対して感謝申し上げますとともに、さらなる相互理解と連携を促進し、その成果を社会に還元していくことに役立てるよう微力を尽くすことをお約束して、挨拶とさせていただきます。

### 日本心理医療諸学会連合第25回大会報告

第25回大会長 坂入 洋右

日本心理医療諸学会連合第25回大会は、2012年8月19日に日本大学文理学部百周年記念館において、「ストレスマネジメントとその技法」をテーマとして開催されました。UPM大会長の役得で、私自身がお話を伺いたい最高の講師の先生方に手弁当でのご登壇をお願いしてお引き受けいただき、また当日は、多様な専門領域からの多くの参加者が各会場で熱心に討議していただき、盛況に終えることができました。有難うございました。

医学と心理学の多様な学会の連合体としてのUPMの特徴は、技法や科学的エビデンスを重視するとともに、常に患者・来談者を中心に置くことで、様々な立場の専門家が各自の立場を超えて協働することが可能になっている点にあります。この特徴は、各種の心理療法や理論の研修と、1事例だけを取り上げて、異なる学会を代表する数名のコメントーターおよび全ての参加者で考える事例検討会からなる年次大会の構成に現れています。

第25回大会では、竹中晃二先生(日本健康心理学会)と熊野宏昭先生(日本行動療法学会)によるストレスマネジ

メントとACTに関する講演や、杉江征先生による自律訓練法の講習および西村千秋先生と長野祐一郎先生によるバイオフィードバック技法の講習からなる5種類の研修が実施されました。事例検討会では、芝山幸久先生(日本心身医学会)に報告いただいた「仕事、育児、家事のストレスで不安が続く女性の事例」について、伊藤克人先生(日本心療内科学会)、小田切優子先生(日本ストレス学会)、鈴木佳子先生(日本交流分析学会)、楡木満生先生(日本カウンセリング学会)の4名に各立場からコメントをいただき、会場の参加者とともに3時間かけて討議がなされました。各参加者の篤い思いがこもった議論が展開され、1人の女性の健康と幸福を全国から集まった多くの専門家が共に真剣に考えた貴重な時間を体験することができ、UPMの意義を再認識致しました。

極めて残念なことに、大会の後、事例検討会で貴重なコメントをくださったUPM理事の楡木満生先生、そしてUPM顧問の内山喜久雄先生のご逝去の報を受けました。心理医療領域における多大なご功績に感謝致しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

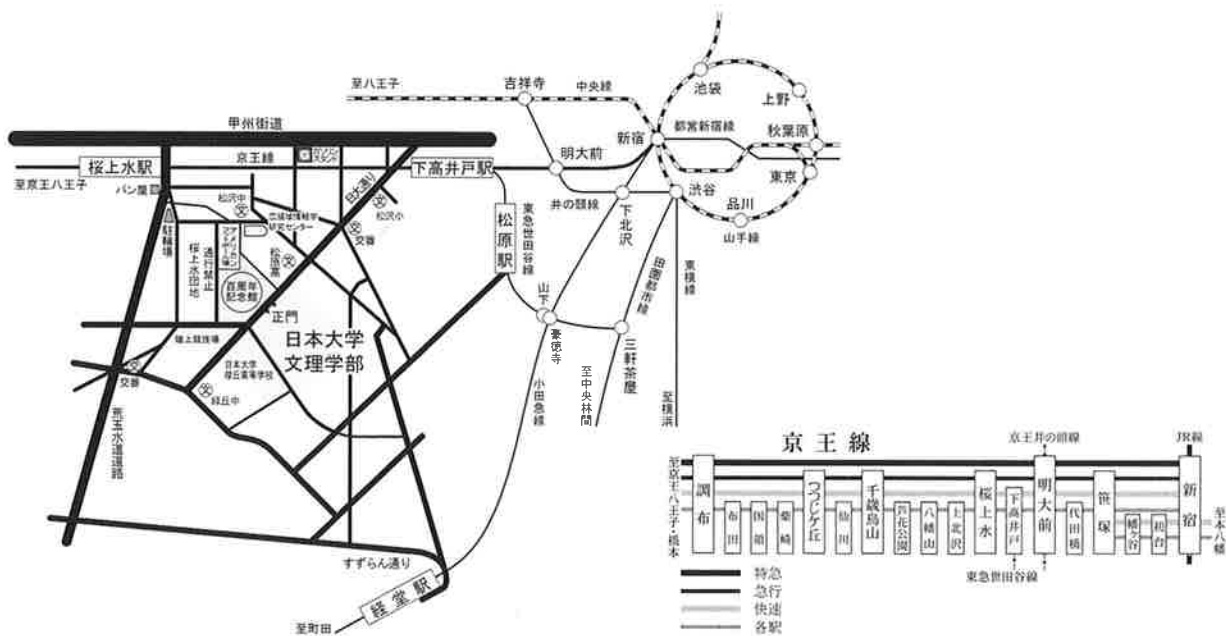
# 日本心理医療諸学会連合第26回大会

## テーマ「心理技法のベースアップに向けて」

1987年に設立された日本心理医療諸学会連合 (UPM) は、加盟学会の特色を生かし、領域や学問的立場を越えた連携による総合的發展を目指して活動してきました。今回、第26回大会として下記の症例検討会並びに心理技法のベースアップに向けた講習会を開催いたします。各加盟学会の先生方のご参加を、心よりお待ちしております。

- 第26回大会長 端 勝 敬 (日本バイオフィードバック学会)  
 理事長 坂 入 洋 右 (日本自律訓練学会)  
 第26回大会運営委員 野 村 忍 (日本バイオフィードバック学会理事長)  
 廣 田 昭 久 (日本バイオフィードバック学会)  
 天 保 英 明 (日本心身医学会)  
 江 花 昭 一 (日本心身医学会)  
 松 野 俊 夫 (日本交流分析学会)  
 中 澤 直 子 (日本女性心身医学会)

- 主催 日本心理医療諸学会連合  
 ■日時 2013年9月1日(日) 9:15~17:00  
 ■参加費 UPM加盟学会会員:4,000円/一般参加者:5,000円/学生:2,000円  
 ※参加費は当日会場にてお支払いください。学生の方は身分を証明するものを当日ご持参ください。  
 ■会場 日本大学文理学部百周年記念館 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水4-2-50



### ■大会プログラム

- 8:30 受付開始  
 9:15~ 開会 日本心理医療諸学会連合 (UPM) および第26回大会の概要  
 9:30~11:00 講習会Ⅰ 「心理技法のベースアップⅠ」(別表参照)  
 11:15~12:45 講習会Ⅱ 「心理技法のベースアップⅡ」(別表参照)  
 12:45~14:00 昼食(参加者は各自昼食・飲み物をご用意ください。会場内には飲み物の自販機はあります。)  
 13:00~14:00 UPM 理事会  
 14:00~17:00 症例検討会 「事例に学ぶ見立てと対応」  
 ○症例提示「思春期~青年期のケース」  
 袖本 礼子 先生(心療内科アーツクリニック大崎/日本心身医学会)  
 ○コメンテーター(3つの学会から各1名が、それぞれの立場からコメント)  
 山 蔭 圭 輔 先生(日本行動医学会)  
 岩 壁 茂 先生(日本カウンセリング学会)  
 野 口 京 子 先生(日本健康心理学会)  
 ○指定発言  
 矢 吹 弘 子 先生(日本カウンセリング学会)

■講習会の内容

- ・各講習会は独立した内容ですので、組み合わせて受講できますが、同一時間内に2つの受講はできません。
- ・Cの日本バイオフィードバック学会の講習会は、バイオフィードバック技能師資格認定講習会を兼ねています。

講習会Ⅰ (9:30~11:00)		講習会Ⅱ (11:15~12:45)	
I-A (100名)	<b>研究計画の立て方</b> 全般的な研究計画の立て方について、必要事項を具体例を出しながらわかりやすく説明する予定です。 講師：竹内 武昭 先生(帝京大学) 日本心身医学会	II-A (100名)	<b>統計の基本</b> 研究・発表に必要な統計のエッセンスと基本的な分析の方法について解説します。 講師：清水 武 先生(筑波大学) 坂入 洋右 先生(筑波大学) 日本自律訓練学会
I-B (60名)	<b>認知行動療法のキホン</b> 認知行動療法の基本的な理論を概説し、臨床実践について解説します。 講師：大月 友 先生(早稲田大学) 日本行動療法学会	II-B (60名)	<b>アクセプタンス&amp;コミットメント・セラピー(ACT)入門</b> 新世代の認知行動療法の1つであるアクセプタンス&コミットメント・セラピー(ACT)について、その理論と臨床実践をエクササイズを用いながら解説します。 講師：大月 友 先生(早稲田大学) 日本行動療法学会
I-C (40名)	<b>バイオフィードバックの基礎と歴史</b> バイオフィードバックの基礎と歴史について概説し、最近の動向についても可能な範囲で紹介します。 講師：山口 浩 先生(岩手大学) 日本バイオフィードバック学会	II-C (40名)	<b>臨床バイオフィードバックの実際</b> バイオフィードバックの臨床応用について概説し、実際のBF機器を使ったデモを行います。 講師：竹林 直紀 先生 (ナチュラル心療内科クリニック) 日本バイオフィードバック学会

※カッコ内は募集予定人数

■大会申し込み (6月1日より申し込みを開始いたします)

下記必要事項を記入し、大会事務局宛にメール (upm26@med.toho-u.ac.jp) またはFAXにてお申し込み下さい。大会情報は随時更新いたしますので、UPMホームページ (<http://www.jupm.jp>) の大会案内をご覧ください。

●日本心理医療諸学会連合第26回大会 申し込み要綱

1. 参加者氏名(ふりがな)
2. 症例検討会 a. 参加 b. 不参加
3. 希望する講習会番号 講習会Ⅰ (I-A・I-B・I-C) 講習会Ⅱ (II-A・II-B・II-C)  
 ※同じ時間帯の講習会に同時に2つは受講できません。講習会には定員があります。受付は先着順です。
4. 連絡先ご住所・TEL
5. 連絡先(メールアドレスまたはFAX)：受付確認後ご連絡を差し上げます。
6. 所属するUPM加盟学会名(主たる学会名)、または一般・学生等の区分をお書きください。

●申し込み・問い合わせ先

日本心理医療諸学会連合 (UPM) 第26回大会事務局 (東邦大学心療内科)

E-mail : upm26@med.toho-u.ac.jp FAX : 03-3762-7547

日本心理医療諸学会連合加盟学会一覧

日本カウンセリング学会 日本健康心理学会 日本行動医学会 日本行動療法学会 日本交流分析学会  
 日本歯科心身医学会 日本実存療法学会 日本女性心身医学会 日本自律訓練学会 日本心身医学会  
 日本心療内科学会 日本ストレス学会 日本内観学会 日本内観医学会 日本バイオフィードバック学会

< 2013年度 第1回ニューズレター 事務局便り >

この度、日本心理医療諸学会連合 (UPM) の事務局が、筑波大学 (茨城県つくば市天王台1-1-1筑波大学体育系内) に移転いたしました。

UPMは、その理念にご賛同いただいた多くの人や組織のご支援、ご尽力によって成り立っています。各加盟学会および理事や会員の先生方をはじめ、このニューズレターの制作に関わる実務教育出版、ホームページ (<http://www.jupm.jp>) の管理に関わるハッピージャパンなど、関係者の皆様

に感謝しながら、その一端を担わせていただくべく事務局としての役割を果たしてまいります。至らぬところも多いかと存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

事務局長 中塚 健太郎